

I. 私たちはキリストの中にある信者たち、また神の子供たちとして、永遠の命を持っていて、永遠の命を経験することができるだけでなく、この命をキリストのからだの他の肢体に供給することができます。

Iヨハネ 5:16 だれでも自分の兄弟が、死に至らない罪を犯しているのを見たなら、その人は祈り求めるべきです。そうすれば、彼はその人に、死に至らない罪を犯している人たちに、命を与えます。死に至る罪があります。それについて祈り求めるべきであるとは、私は言いません。

II. 命を供給することは、命を分け与えることです。私たちは命の余剰を持つとき、この供給から他の人たちに供給することができます。

| | | |
|---|--|---|
| III. 神の家を建造する奉仕は、命を供給する奉仕、すなわち、神聖な命を他の人たちに供給する奉仕です： IIコリント 4:12 こうして、死は私たちの中で働き、命はあなたがたの中で働くのです。 | A. 召会の奉仕は命を供給することです。なぜなら、それは命の奉仕であるからです： | 1. もし私たちが事務を取り扱ったり、物事を管理したりするだけで、他の人たちに神の命を供給しないなら、私たちの奉仕は失敗であり、空虚です。 2. 私たちの奉仕が何であっても、私たちは自分の奉仕が命を他の人たちに供給する手段であるということがはっきりしているべきです。 3. もし召会が物事を顧みるだけであって、命を供給しないなら、召会はその性質を失い、一つの社会になってしまうでしょう。 4. 私たちは他の人たちが命の供給を受けるような方法で奉仕しなければなりません。私たちはこの点に深く印象づけられ、主を仰ぎ望む必要があります。そうすれば、私たちの奉仕は彼の命の出口となります。 ヨハネ 10:10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。11:25 イエスは彼女に言われた、「私は復活であり、命である。私の中へと信じる者は、たとえ死んでも生きる。 |
| | B. 私たちが他の人たちに供給する命は、その霊の中にあり、その霊は、私たちの霊とミングリングされています。また神の命はミングリングされた霊の中にあり、住み、成長します： | 1. 私たちは聖徒たちに命を供給しようとするなら、私たちの霊を解放しなければなりません。なぜなら、神聖な命は私たちのミングリングされた霊の中にあるからです。 2. 私たちの霊が解放されることができないなら、神聖な命が解放される方法はありません。 |
| | C. 私たちは命と道徳上の性格との区別を見する必要があります： | 1. クリスマスは善であること、すなわち、道徳上の性格、良い行ない、良い振る舞いについては語っていますが、神の御言の中にある神聖な命について語っているではありません。 2. 他の人たちが神聖な命を受けることを妨げないために、私たちは良い行ないをし、良い道徳的な性格を持たなければなりません。しかしながら、良い行ないと道徳上の性格は、必ずしも神の命が私たちを通して表現される手段であるとは限りません： |
| | | a. 私たちは、奉仕において叱責されることがなく、称賛を受けても、単に良い性格、完全さ、人の美德を表現するだけかもしれません。しかし、それらは神の命ではありません。 b. もし他の人たちが私たちに触れて、私たちの中のキリストに触れないなら、死に触れて、命に触れません。 |

| | | | |
|--|---------------------------------------|--|--|
| IV. 私たちは奉仕者として、命を供給することができるようになる必要があることに深く印象づけられる必要があります： Iヨハネ 5:11 これが証しです。すなわち、神が私たちに永遠の命を与えられ、そしてこの命が彼の御子の中にあるということです。 | A. 神からの奉仕は、私たちが命を他の人たちに供給することを必要とします： | 1. 神が私たちに求めている奉仕は、働きを行なうことに重点があるのではなく、命を供給することに重点があります： Iヨハネ 5:16 だれでも自分の兄弟が、死に至らない罪を犯しているのを見たなら、その人は祈り求めるべきです。そうすれば、彼はその人に、死に至らない罪を犯している人たちに、命を与えます。死に至る罪があります。それについて祈り求めるべきであるとは、私は言いません。 2. 尺度となる唯一の標準は、召会がどれほど神の命を他の人たちに供給したか、またどれほど神聖な命の要素が召会の奉仕を通して他の人たちの中へと入ったかということです。 | a. 聖徒たちの奉仕と召会の奉仕の中心また焦点は、事業や働きを建て上げるのではなく、命を供給することです。 b. 神が願われるのは、私たちの奉仕が働きや事業を生み出すことに重きをおくのではなく、命を供給することに重きをおくということです。 |
|--|---------------------------------------|--|--|

| | |
|---|---|
| <p>12 御子を持つ者は命を持っています。神の御子を持たない者は命を持っていません。</p> <p>13 私がこれらの事をあなたがたに、すなわち、神の御子の名の中へと信じているあなたがたに書き送ったのは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知るためです。</p> | <p>B. 実を結ぶことは命を供給すること、すなわち、ぶどうの木の命の供給を解き放つことです。</p> <p>C. 私たちは他の人たちに命を供給するために、キリストに結合され、キリストの中に住み、私たちの中で彼に立場を与えて私たちを満たしていただく必要があります。それによって彼の命、彼の性質、彼の好み、彼の傾向が、私たちの命、私たちの性質、私たちの好み、私たちの傾向となることができます。私たちの奉仕において、彼のすべては私たちのすべてとなります。</p> <p>D. どうか神が私たちをあわれんでくださり、私たちの奉仕と働きがすべて彼から出てきたものとなり、私たちと彼との交わりから出てきたものとなって、彼と彼の命をあふれ流れ出させて他の人たちに供給することができるものとなりますように。</p> <p>詩 36:8 彼らはあなたの家の脂肪分で満ち足り、あなたは彼らにあなたの楽しみ<small>の</small>川から飲ませられます。</p> <p>9 あなたと共に、命の源泉があり、あなたの光の中で、私たちは光を見るのです。</p> <p>E. 私たちは常に覚えていなければなりません、召会の奉仕とは神が流れ出て、神聖な命を他の人たちに供給することです。</p> |
| <p>V. 供給することは、命の流れ出を持つことです：</p> | <p>A. 命は神の内容であり、神の流れ出です。神の内容は神の存在であり、神の流れ出はご自身を命として私たちに分け与えることです。</p> <p>B. 命が私たちの霊から解放されるために、私たちの外なる人は対処され、砕かれなければなりません：</p> <p>1. 私たちの外なる人が砕かれていないなら、神聖な命の純粋な流れはあり得ません。</p> <p>2. 私たちは神聖な命が私たちの内側から解き放たれることを願うなら、魂の中で征服され、私たちの霊にあらゆる事を統治させ、支配させなければなりません。そうすれば主の命は流れ出ることができます。</p> <p>C. 命の流れ出を持つことは、私たちが命を解き放つキリストの死の中で彼と共にいることを必要とします。これは打たれた岩によって予表される、打たれたキリストと一体化されることです： ヨハネ 19:34 しかし、兵卒の一人が彼の脇を槍で突き刺すと、直ちに血と水が流れ出た。 出 17:6 見よ、私はホレブのあの岩の上で、あなたの前に立っている。あなたがその岩を打つと、水がそこから出て、民は飲むことができる」。モーセはイスラエルの長老たちの目の前で、そのように行なった。</p> <p>1. 私たちが打たれたキリストと一体になるとき、すなわち、打たれたキリストとしての彼と一であるとき、生ける水としての神聖な命は、私たちから流れ出ます。</p> <p>2. 私たちの人の命、私たちの天然の命は、打たれなければなりません。それは生ける水が私たちの内側から流れ出るためです。</p> <p>3. 私たちが打たれたキリストと一であり、彼と一体化されているなら、自分の天然の命が十字架につけられることを経験します。それからキリストの人の命が打たれることを通して、彼の神聖な命が生ける水として流れ出たように、私たちも天然の命が打たれることを通して、命の水の流れを経験します。</p> |
| <p>VI. 私たちは命を他の人たちに供給しようとするなら、召会に対する死の攻撃に注意する必要があります： ローマ 5:17 もし一人の違犯によって、死が一人を通して王として支配したなら、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受ける者たちは、さらにいっそう一人の方、イエス・キリストを通して、命の中で王として支配します。</p> | <p>A. エデンの園の時以来、神とサタンの衝突は常に命か死の事柄にあります。</p> <p>B. 神から出るものは命によって特徴づけられ、サタンから出るものは死によって特徴づけられます。召会において、神から出るすべてのものは命であり、サタンから出るすべてのものは死です。</p> <p>C. 召会に対する攻撃は死から、すなわち、ハデス[陰府]の門からやって来ます。 マタイ 16:18 そこで私もあなたに言う。あなたはペテロである。私はこの岩の上に、私の召会を建てる。ハデス[陰府]の門も、それに勝つことはない。</p> <p>D. 召会に関してサタンが最も恐れることは、召会がサタンの死の力に抵抗することです。</p> <p>E. 私たちの内側にある永遠の命は、私たち自身の中でも、また召会の他の肢体の中でも死に打ち勝つことができます。</p> <p>F. 私たちは、内側にある永遠の命を経験し、享受する必要があります。また私たちは、永遠の命が流れることのできる経路となることによって、他の人たちにこの命を供給する必要があります。</p> <p>G. 神の意図は、召会がキリストの命を現すことです。このゆえに、召会は命に満ちていなければならず、召会における私たちの奉仕は命を供給しなければなりません。</p> |

経験:

①あらゆる奉仕は、福音を宣べ伝えることであり、メッセージをすることであり、事務を管理することであり、訪問をすることであり、すなわち、奉仕が霊的なものであり、事務的なものであり、私たちが受けた命を供給するための手段であるべきです。福音を宣べ伝えることは命を供給することです。言葉の務めをすることは命を供給することです。訪問は命を供給することであり、召会の事務室で奉仕することは命の供給のためです。あらゆる通常の事柄、すなわち、掃除をすること、窓をきれいにすることは命を供給する手段です。見たところ、召会の奉仕には多くの項目があるようですが、霊的に言って、これらの多くの項目には一つの目的があり、それは命を供給することです。聖徒たちは奉仕に関する原則について聞いてきましたが、私はこれに関して再び交わります。なぜなら、私たちは自分の奉仕を考察する必要があるからです。私たちの奉仕が何であっても、私たちは自分の奉仕が命を他の人たちに供給する手段であることがはっきりしているべきです。長老たちや執事たちはこの点を守るべきです。

ビジネス・ライフ編: 召会生活のあらゆる奉仕は、それが霊的な奉仕であり事務的な奉仕であり、命を供給するものでなければなりません。福音を伝えるような霊的な奉仕は命を供給する必要がありますが、掃除をするような奉仕は命を供給する必要がないと考えてはいけません。このような観点を持つと、あなたのビジネス・ライフにおけるあらゆる業務も原則は同じであることが分かります。集会の時に、霊を活用し、思いを霊に付ける必要があるだけでなく、ビジネスの業務についても同じです。業務を遂行する上で、キリストを享受し、キリストを知恵、業務推進力などとして経験し、キリストを大きく表現してください。そうすれば、あなたは主の命の中で成長し、ビジネスにおいても祝福されます。

②コリント人への第二の手紙第4章12節で語られている、私たちの内側で死が働くことは、殺すことです。死が働くことは、私たちが砕かれることです。私たちが砕かれれば砕かれるほど、ますます神の命は私たちから流れ出ます。

砕かれている兄弟は命を供給することができます。私たちはこの事を教理的に理解することはできますが、なおもこの事を実行に移す必要があります。命の霊は私たちの霊の中に住んでいます。しかしながら、私たちの人の霊のほかに、私たちには魂と体があります。私たちの魂と体は、霊の周りを覆っています。ですから、命が私たちの霊から出て来るためには、私たちの魂と体が対処され、砕かれなければなりません。私たちの体は大きな問題ではありませんが、私たちの魂には大きな問題があります。魂のものは、私たちの思い、感情、意志から成っています。これらの三つのものは、対処するのが困難です。魂は霊を囲み、霊の周りを覆っています。ですから、私たちの霊が出て来るためには、私たちの魂が対処され、砕かれなければならないのです。そうでないと、神聖な命の純粋な

流れはあり得ません。

結婚生活編: 結婚生活において、一つ心を持って、互いに愛し合い、支え合うために、神の命が結婚生活において享受され、流れ出なければなりません。神の命はあなたの霊の中にあるので、命が流れ出るためには、霊を囲っている魂が砕かれなければなりません。あなたの魂(思い、感情、意志)は十字架を経験して砕かれなければなりません。実は、結婚生活とビジネス・ライフはあなたが砕かれ、内側の命を外側に流し出すことを助けます。神のアレンジの下で、夫婦は互いに助け合うために、互いに異なっています。同じであれば、衝突はなくても助け合うことはできません。しかし、キリストを享受しなければ、あなたは「助け手」を「足を引っ張る人」と考えてしまいます。あなたは主の御名を呼び、主と共に忍耐し、神のアレンジメントについて十分な認識を持って、十字架を経験して、配偶者が「邪魔者」であるという考えを対処してください。

また、夫婦はあまりにも近いので互いの関係においてルーズになったり、わがままに振る舞ったりしがちです。あなたは「亭主関白」になったり、「かかあ天下」になったりしないように注意すべきです。あなたに対する神の御心は、十字架を通して神の命を流し出し、キリストのからだを建造することです。それは結婚生活においても全く同じです。夫婦が神のエコノミーを遂行するという目標に向かって、一つ心、一つ思いで徐々に前進するために、あなたは必ず十字架を経験し、魂が対処されることを経験してください。このようにするならば、あなたは結婚生活において大きな祝福を見出すでしょう。アーメン！

③私たちは召会生活の中で単独で生きるものではありません。召会はからだであるので、私たちはからだの肢体仲間たちと共に生きます。私たちはからだの中にいるので、他の肢体仲間たちと共に肢体です。永遠の命は私たち自身の必要を顧みるだけではありません。それはまた私たちの周りの肢体仲間たちの必要も顧みます。それは私たちの内側の死に打ち勝ち、また私たちの兄弟たちの内側の死に打ち勝ちます。特に、それは弱い人たちや問題を持っている人たちの中の死に打ち勝ちます。永遠の命を持っている私たちは、この命を他の人に渡すことができます。これは、私たちが経路となり、それを通して永遠の命が人に供給され得ることを意味します。私たちは経路となって、永遠の命が私たちから流れ出て、他の人の中へと流れることができます。

スクール・ライフ編: スクール・ライフが祝福されるために、あなたは召会生活を秘訣として取ってください。人間関係の問題、学業の問題、将来の職業や結婚の問題などについて、すでにそれらの問題を経験した在職青年の兄弟姉妹に心を開き、交わってください。キリストのからだの生活は、最高の社会生活であり、その中には神の命が流れています。この神の命はあなたの内側の死に打ち勝つことができます。ハレルヤ！

218 その霊の豊満—充滿

1. 血しおのきよめで よろこびあふれ、
いのちを受けしは、かわとなるため。
生けるみずながし、その霊を満たし、
かわきをうるおす うつわとなせや。
2. あまくゆたかなる たえなるすくい；
満ちたるところで 日々主あかしす。
生けるみずながし その霊を満たし、
ひとを主へと帰す うつわとなせや。
3. どうときうつわと われつくり上げ、
めぐみといのちを 満たしに満たせ。
生けるみずながし、その霊を満たし、
ひとの飢えいやす うつわとなせや。
4. 主よわれを占有し、なが霊を満たし、
あふれにあふれて、とわにいたれや。
生けるみずながし、その霊を満たし、
わきいであふれる うつわとなせや。

218 圣灵的丰满—充滿

1. 我已得蒙宝血洗净，充滿天上的喜乐；
我已得着永远生命，成为活水的运河。
(副)
我愿作主活水运河，充滿生命的圣灵，
灌输生命，解人干渴，涌流活水无止境。
2. 奇妙救恩，甜美、丰盛，满足我心如我意；
我愿天天作此见证，吸引多人来归依。
3. 主，你使我完全成圣，作你贵重的器皿，
充滿恩典，充滿生命，供应饥渴的人群。
4. 将我倒空，将我充滿，愿我全人你占有；
活水江河洋溢、泛滥，涌流生命到永久。

268 Fullness of the Spirit-The Filling

1. How I praise Thee, precious Savior,
That Thy love laid hold of me;
Thou hast saved and cleansed and filled me,
That I might Thy channel be.
(chorus)
Channels only, blessed Master,
But with all Thy wondrous grace,
Flowing through us, Thou canst use us
Every hour in every place.
2. Just a channel, full of blessing,
To the thirsty hearts around;
To tell out Thy full salvation,
All Thy loving message sound.
3. Emptied that Thou shouldest fill me,
A clean vessel in Thine hand;
With no strength but as Thou givest
Graciously with each command.
4. Witnessing Thy grace to save me,
Setting free from self and sin;
Thou hast bought me to possess me,
In Thy fulness, Lord, come in.
5. O Lord, fill now with Thy Spirit
Hearts that full surrender know;
That the streams of living water
From our inner man may flow.